



中西 武

能勢町の将来について

問 我が町のトップになられた町長は、10年先、20年先の将来を見据え行政を執行されるのが常識と思うが、新町長は能勢町が10年先どんな姿を想定されているか。

答 今のまま流れていくと、65才以降の人口が50%に近づき、子どもたちが少なくなってしまう。総人口が1万人はとにかく切りたくないというのが率直なところである。

問 我が町の小・中学、高校は、10年先にはどう想定されているか。

答 東の地域から学校は全て無いという状況が生まれてくると想定する。能勢町自体も子どもの数を減らさないような施策をとり、町づくりをしていくのが一番大切であると思う。

問 能勢町の活性化については、今後10年間どう取り組まれるのか。

答 施策を打って、言うだけではだめ、書くだけではだめ、制度をつくりましたではだめ。それを有効に生かすため、人材を投入していかなければ問題解決にはならないと考える。これが観光課と活性化を設置したいという思いに連なってくると思う。



常に減ってくると思う。高齢の方が元気がないとはいわないが、年齢層が集中したような各行事になっていくのではないかな。中年から若い層が比較的に集まらないような行事をしていかなければいけない。これが行事そのものが元気がないということにつながるっていくのではないかと考える。

一般質問



中植 昭彦

住みよいまちをつくるために

ブログでの差別的書き込みについて抗議する

問 大変残念な事象が起っている。本町の学校再編を主に題材にしたブログにおいて、コメント欄に差別的な書き込みや個人を誹謗中傷するような書き込みがあった。

答 本町においては、これまで人権教育に積極的に取り組んできた中で、この書き込みは個人の権利を否定するだけではなく、本町の人権施策、人権教育をも否定されるような書き込みであると感じている。

問 能勢町の教育、町づくりを考えるブログの趣旨であることから、能勢町として強く抗議し、管理者に対し管理の徹底を求めることが必要と考えるが。

答 (町長) 私も同感である。抗議また、このような事象が二度と起こらないよう管理者に対し管理の徹底を求めていく。

(教育次長) ブログの管理者に対し適切な管理を求め、また、ネット社会による人権教育の必要性を肝に銘じ対応していく。

問 言論、表現の自由は保証されるべきだが、それにも一定のルールがあると考えるが。

答 私も同感だ。

町内移動手段の早期確保を

問 町内の移動手段の施策について、前町長にはスクールバスの昼間利用と過疎地有償運送の相互利用を図っていくと方向性を示して頂いている。変わりはしないか。

答 スクールバスの活用については出来るだけ早い段階で活用が出来るよう努力してまいりたい。また、ボランティアや福祉施策と連携した新たな移動手段の確保など検討していく。

(要望) 町内の移動手段については喫緊の課題であり、早期の実現を求める。

高齢者の安否確認、緊急時の対応を

問 以前より高齢者世帯の緊急時の通報について問題点を指摘している。対応は。

答 以前より指摘をされた中で検討をしてきた。今回、補正予算にも上程する予定だが、問題点を解消するような新しい機種を無償で貸与させて頂く予定である。(その後、関係予算は可決され新システムが導入された。)

*その他、農業の現状(高齢化、遊休地の増加)や、能勢町の活性化(学校再編等)について質問を行い、いずれも早期の対応を求めました。